

平成2年（1月～12月）における火災の概況

自治省消防庁防災課

1 出火件数

平成2年中における出火件数は、56,413件で、前年に比べ650件（1.2%）の増加となっている。これを1日当たりの出火件数でみると約155件となり、約9分に1件の割合で火災が発生したことになる。

この出火件数を火災種別ごとにみると、建物火災が34,713件（全火災の61.5%）で最も多く、次いで車両火災が6,155件（10.9%）、林野火災が2,878件（5.1%）、船舶火災が147件（0.3%）、航空機火災が4件（0.0%）、そ

の他の火災が12,516件（22.2%）となっている。

これらを前年と比べると、車両火災は411件（7.2%）、船舶火災は9件（6.5%）、その他の火災は719件（6.1%）それぞれ増加しているが、建物火災は473件（1.3%）、林野火災は16件（0.6%）それぞれ減少しており、また、航空機火災は前年と同数となっている。

2 死傷者数

火災による死者は、1,821人で、1日当た

表1 平成2年中における火災の発生状況

区 分	平成2年	平成元年	増 減 数
総出火件数(件)	56,413	55,763	650
建物火災	34,713	35,186	-473
林野火災	2,878	2,894	-16
車両火災	6,155	5,744	411
船舶火災	147	138	9
航空機火災	4	4	0
その他の火災	12,516	11,797	719
焼損棟数(棟)	46,749	47,437	-688
り災世帯数(世帯)	34,207	33,564	643
焼損面積			
建物(m ²)	1,652,976	1,734,055	-81,079
林野(a)	139,232	211,699	-72,467
損害額(千円)	136,087,764	140,494,183	-4,406,419
死者数	1,821	1,747	74
負傷者数	6,923	7,292	-369

(注) 本表は、概数集計によるものである。表2も同じ。

り約5人の死者が生じたことになっており、前年の1,747人に比べ74人(4.2%)増加している。

死者の発生した経過は、放火自殺者が726人(全体の39.9%)、次いで、逃げ遅れによる死者が712人(39.1%)、着衣着火による死者が128人(7.0%)となっている。

次に、火災による負傷者は、6,923人で、前年の7,292人に比べ369人(5.1%)減少している。これは、1日当たり約19人の負傷者が生じたことになる。

3 焼損程度

焼損棟数は、46,749棟(1日当たり約128棟、建物火災1件当たり約1.3棟)、り災世帯数は、

34,207世帯(1日当たり約94世帯、建物火災1件当たり約1.0世帯)、建物焼損面積は、1,652,976㎡(1日当たり約4,529㎡、建物火災1件当たり約47.6㎡)、林野焼損面積は139,232a(1日当たり約381a、林野火災1件当たり約48a)、損害額は、1,360億8,776万円(1日当たり約3億7,284万円、全火災1件当たり約241万2千円、国民1人当たり約1,109円)となっている。

これらを前年と比べると、焼損棟数は、688棟(1.5%)、建物焼損面積は、81,079㎡(4.7%)、林野焼損面積は、72,467a(34.2%)、損害額は、44億642万円(3.1%)といずれも減少しているが、り災世帯数は、643世帯(1.9%)増加している。

表2 平成2年中における火災による死傷者の発生状況

(1) 火災種別死傷者数

死傷者の内訳	平成2年		平成元年		増減数	
	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
計	1,821	6,923	1,747	7,292	74	-369
(放火自殺者数)	726	—	716	—	10	—
建物	1,246	6,125	1,184	6,474	62	-349
林野	13	123	15	118	-2	5
車両	200	217	186	251	14	-34
船舶	3	19	11	30	-8	-11
航空機	4	0	0	1	4	-1
その他	355	439	351	418	4	21

(2) 死に至った経過

区分	計	逃げ遅れ	出火後再進入	着衣着火	放火自殺	その他
平成2年	1,821	712	30	128	726	225
平成元年	1,747	723	28	118	712	166
増減	74	-11	2	10	14	59